国土交通省東北地方整備局
Tohoku Regional Bureau
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

記者発表資料

令和３年５月２６日
福島河川国道事務所

土砂災害から市民のいのちとくらしを守る
～塩の川第7砂防堰堤完成披露会を開催～

福島県福島市佐原竹ノ森地内において、荒川流域における土石流災害や流木災害の防止を目的に整備を進めてきた塩の川第7砂防堰堤が、令和3年3月に完成しました。
本堰堤は、近年多発している豪雨における災害などで見られた流木災害に対応する鋼製スリット型の砂防堰堤です。
本堰堤の完成を記念して、地域の皆様や小学校児童をお招きし、下記のとおり完成披露会の開催にあわせて、砂防施設の効果を体験できる模型実験を実施いたします。

※塩の川第7砂防堰堤の概要については、別添資料を参照願います。

記

1．日　　時　：　令和3年5月28日（金）　10:00～11:00　（小雨決行）
2．場　　所　：　福島市佐原竹ノ森地内　塩の川第7砂防堰堤(別添案内図)
3．次　　第　：　(1)完成披露会
①主催者あいさつ
②来賓紹介
③地元代表あいさつ　佐倉地区自治振興協議会会長
④説明板除幕
(2)完成披露会後、佐原小学校児童の土石流模型実験、記念撮影を実施予定

4．注意事項：
・取材の際は、5／28(金)8:30迄に御連絡をお願いします。
（天候等により中止となる場合お伝えします）
・前日の天気予報により、明らかに中止と判断される場合は、事前にお知らせいたします。
・取材される方は新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、手指の消毒マスク等の着用、参加者間の適切な距離確保等をお願いします。
・会場付近は道幅が狭く、駐車スペースも限られておりますので、安全のため係員の誘導に従ってください。

記者発表先　：　福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ

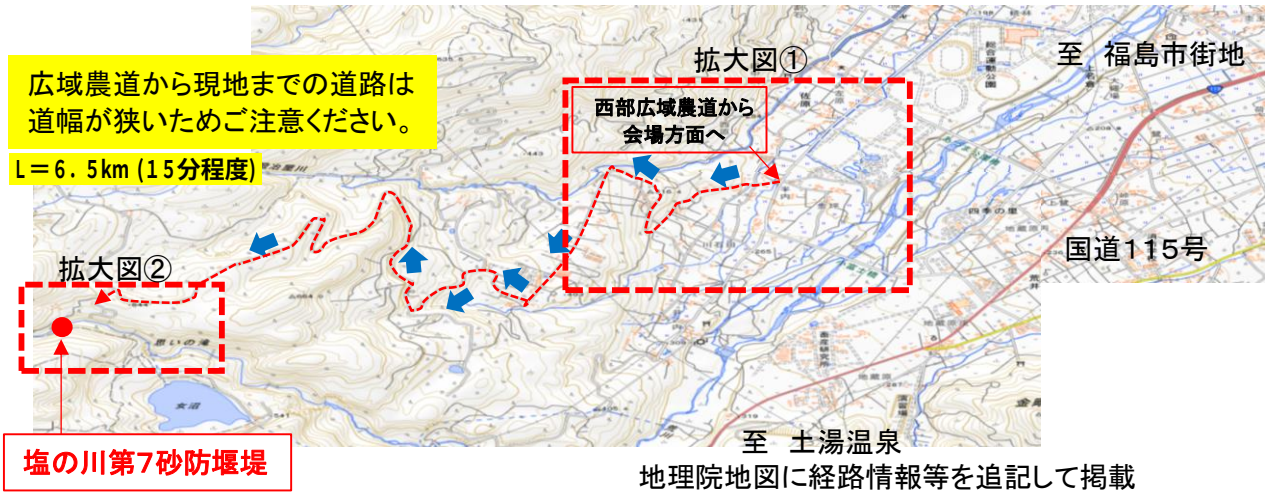
【お問い合わせ先】

○　国土交通省　東北地方整備局　福島河川国道事務所
TEL　：　024－546－4331（代表）
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/

工務第一課　課長　木村　潤爾（きむら　じゅんじ）、建設専門官　山内　尚也（やまうち　なおや）

別添案内図

塩の川第7砂防堰堤までの経路



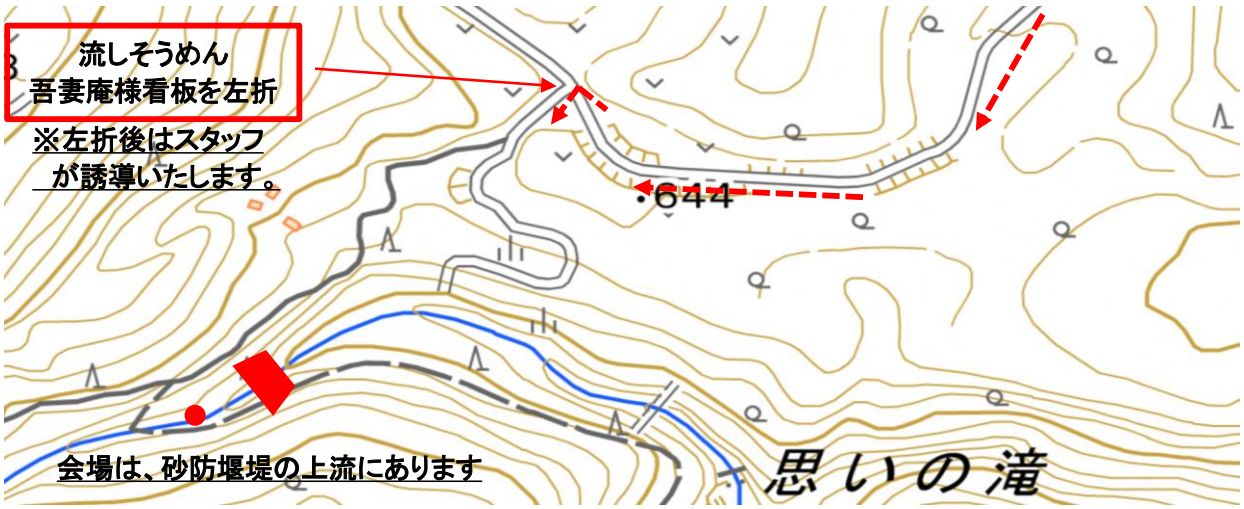
地理院地図に経路情報等を追記して掲載

【拡大図①（広域農道から会場方面へ）】



地理院地図に経路情報等を追記して掲載

【拡大図②（会場付近）】



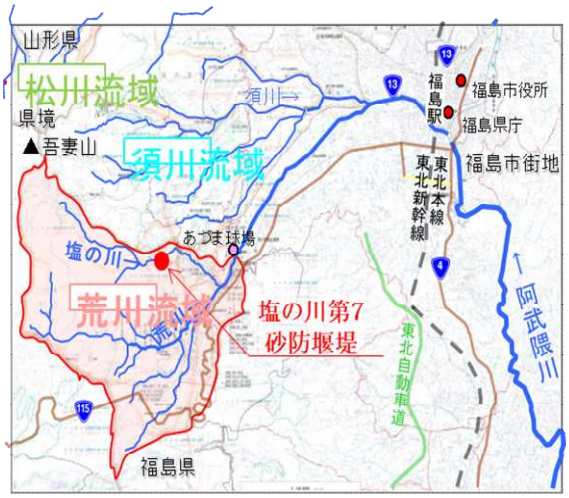
地理院地図に案内情報等を追記して掲載

別添資料-1

塩の川第7砂防堰堤の概要

塩の川第7砂防堰堤は、吾妻山から流出した土砂が福島盆地の荒川に堆積することによる出水の軽減と塩の川谷出口における土石流被害の軽減を目的に計画されました。

塩の川第7砂防堰堤は、塩の川流域の鋼製透過型砂防堰堤（通称：鋼製スリット堰堤）として土石流災害軽減の他、流木災害軽減の効果を持つ砂防堰堤として、荒川流域では第34番目(塩の川流域では7番目)の堰堤として令和3年3月に完成しました。





○事業効果

・砂防堰堤の整備により上流からの火山泥流、土砂流出による県都福島市等への被害軽減

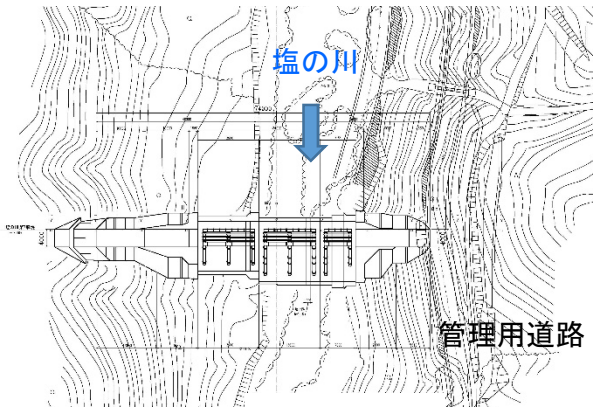
・近年多発している流木災害の軽減・福島市街地の保全

・重要交通網の保全

国道4号、国道13号、東北自動車道、東北本線
山形新幹線、奥羽本線

※東北全域の交通へ多大な影響を与える

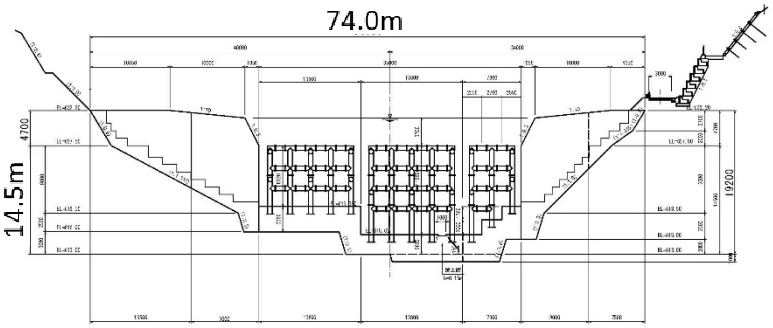
平 面 図



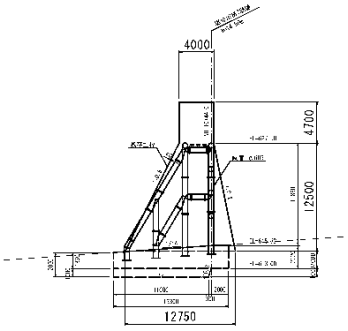
堰堤概要

○着工年：平成23年6月（2011年）
○竣工年：令和　3年3月（2021年）
○構造：鋼製透過型砂防堰堤（格子型）
○施設概要
　型式：鋼製透過型（鋼製ｽﾘｯﾄ型）
　堤高：14.5m
　堤長：74.0m
　堤体積：3,300㎥
　施設効果量：114,400㎥

正 面 図



側 面 図



別添資料-2

【参考】

土石流とは

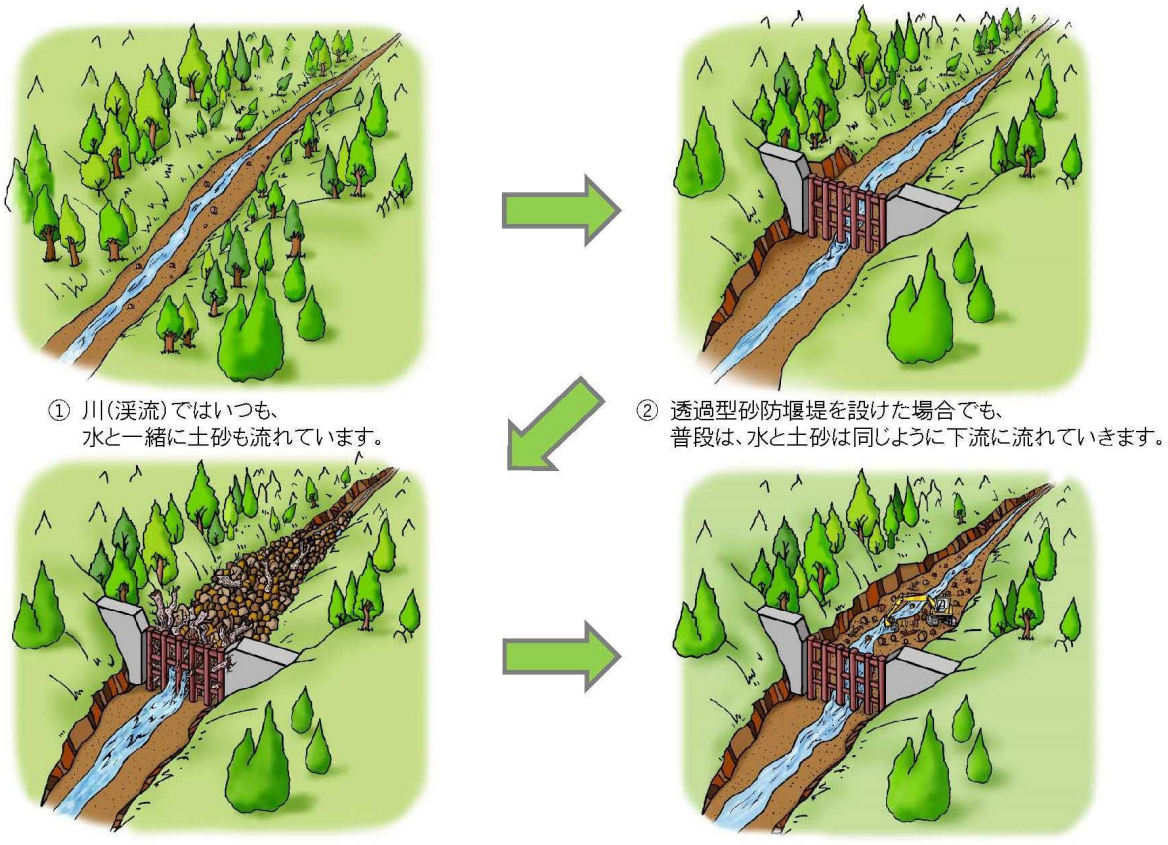


梅雨の時期や、台風が来たときなどに、雨が一度にたくさん降ると、山の一部や河岸が崩れてしまうことがあります。

その崩れた土や石や、倒れてしまった木、川の底にたまっている砂などが水と一緒に、一気に流れてくることを土石流といいます。

土石流が一気に平地に出てくると、河川が埋まり洪水が発生したり、集落や農地などが土砂に埋まり大きな災害となります。

透過型砂防堰堤のはたらき



① 川(渓流)ではいつも、水と一緒に土砂も流れています。

② 透過型砂防堰堤を設けた場合でも、普段は、水と土砂は同じように下流に流れていきます。

③ 大雨が降り土石流が発生したとき、大きな岩、流木などを含む土砂は、堰堤に引っかかり止まります。

④ 堰堤にたまった岩、土砂や流木は、次の土石流に備えて取り除きます。